

授業科目名	社会福祉学	担当教員	村上信
選択	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

【授業概要】

人々の暮らしを支える社会福祉の理念・歴史・仕組み・分野・実際について基本的な学習を行う。さらに福祉の援助に関する基本原則や方法についても分かり易く解明し、生活者の視点に立った社会福祉について考察していく。

対人福祉サービスとして総合的に社会福祉を捉え、障害者・高齢者で介護ニーズの高い人、保健・医療ニーズの高い人、経済的ニーズの高い人などが生活の安定を図るための社会福祉についても学習を行う。

【授業目的・目標】

1. 社会福祉の歴史的発達を学び社会福祉とは何かを理解する。
2. 社会福祉と保健・医療サービスの関係について理解する。
3. 日本における現代の社会福祉制度について理解する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 社会福祉とは何か（生活ニーズ、基本的理念、ノーマライゼーション）
- [02] 社会福祉の歩み（日本、外国）
- [03] 社会福祉の仕組み（法律、制度、実施体制）
- [04] 社会福祉の分野（児童・家庭、障がい、高齢者、災害、国際）
- [05] 社会福祉の関連分野（社会保障、社会保険、教育、雇用、居住）
- [06] 社会福祉の仕事と担い手（福祉にかかわる専門職）
- [07] 社会福祉の方法（援助原則、援助アプローチ）
- [08] これからの社会福祉（福祉のまちづくり、地域福祉、ボランティア、NPO、福祉文化）

【教科書】

1. 福田素生著他（2018）系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉，医学書院

【参考書】

1. 社会保障入門編集委員会（2018）社会保障入門，中央法規出版
2. 厚生労働省編著（2017）平成29年度版 厚生労働白書，日経印刷
3. 山県文治他（2013）社会福祉用語辞典，ミネルヴァ書房
4. 大谷昭他編（2008）改訂 医療ソーシャルワーク実践50例，川島書店

【評価方法・評価基準】

筆記試験（100%）

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の記述を行うこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについては授業中に傾向について示しフィードバックを行う。

【備考】

社会学及び家族社会学が関連する科目である。